

令和5年度 岩手県立久慈工業高等学校 進路指導資料

【学校長あいさつ】



昭和55年に岩手県沿岸北部の産業振興とものづくり人材育成を設置目的として開校した本校は、これまで幾多に渡る時代の変遷を経て、現在電子機械科、建設環境科の2学科において開学の精神を受け継ぎ、今年で創立43年を迎えた工業高校です。これまでも優れた「人財」を輩出し、国内外で高い評価を得てきました。

本校が目指す学校像は「生徒の輝く姿が見える楽しい学校」であり、誠実に勉学に励み、確かな技術を身につけようとする久慈工生にとって目指す姿といえます。

今後も、ものづくり教育の原点を追求し、確かな歴史を刻み続け、明るい未来の創造に大きく寄与できるよう、新たな時代に向けた教育活動を真摯に実践して参りたいと思います。様々な環境の変化があっても久慈工生は、自己の目標に向かってたくましく学校生活を送っています。今後とも、久慈工生が活躍する環境を与えていただければ幸いです。

【目指す学校像】『生徒の輝く姿が見える楽しい学校』

【教育目標】

- (1) 能力、適性を伸張り、主体的に行動する人間の育成
- (2) 技術、技能を尊重し、勤労を貴ぶ人間の育成
- (3) 豊かな教養を育み、創造力豊かな人間の育成
- (4) 心身ともに健康で、自他を敬愛する人間の育成

【沿革】

昭和38年4月1日 岩手県立久慈高等学校に土木科設置
 昭和39年4月1日 岩手県立久慈高等学校に建築科設置
 昭和55年4月1日 岩手県立久慈工業高等学校設置
 土木科、建築科、インテリア科の三学科設置
 久慈高等学校の土木科、建築科が移管
 平成14年4月1日 電子機械科設置（インテリア科募集停止）
 平成19年4月1日 建設環境科設置（土木科、建築科募集停止）

【校章の由来】



建築、土木、インテリア科が集まって久慈の久の字を形づくり、三本の矢に託した三科の結束を表す。また地理的に海、山、大地の三方向へ悠久に力強く発展する意味を表現し、工の字との組み合わせによって、よき工業人を目指している。分離母体である久慈高校校章のデザインをベースとして、その形を残し、これを表したベースの三角形は、大地であり、大地にしっかり礎を築く意味である。

【スクールカラー：ハマナス】

昭和五十五年四月
 岩手県立久慈工業高等学校
 中村直

敬愛 校訓
 協調 礼節
 技術 錬結
 積極 実践
 至誠 責任



1. 校内進路指導体制

校長	水野 扶佐史
副校長	小岩 篤郎
進路指導部長	千葉 享
電子機械科長	近藤 猛
電子機械科3年担任	多田 侑司
建設環境科長	日當 仁己
建設環境科3年担任	山崎 萌

2. 生徒在籍数

学科・学年	1年	2年	3年	計	
電子機械	男子	16	18	11	45
	女子	4	1	1	6
建設環境	男子	3	3	6	12
	女子	2	1	4	7
合計	男子	19	21	17	57
	女子	6	2	5	13

岩手県立久慈工業高等学校

〒028-8201 岩手県九戸郡野田村野田26-62-17
 TEL0194-78-2123 FAX0194-78-4190
 URL:http://www2.iwate-ed.jp/kut-h/

電子機械科

ロボットやマシニングセンタ、NC旋盤などの電子機械に代表されるように機械・電子・情報に関する技術が融合したメカトロニクスの発達により、生産工程を自動化するFAシステムに対応できるメカトロニクス技術を学習します。

～電子機械科3つの柱～

機械 ものづくりの骨格となる機械の基礎知識と技術を習得する。

電気 電子機械に欠かせない電気の基礎知識と技術を習得する。

情報 機械を自立させる情報の基礎知識と技術を習得する。

【3年間の学び】

1年生

電子機械に関する基礎的な内容を学ぶ。
工業技術基礎、工業情報数理、機械工作、機械設計

2年生

専門教科にさらに力を入れ、機械・電気・電子を関連付けて学ぶ。
実習、製図、機械設計、電子機械

3年生

機械、電子機械にわかれて専門性を高める。
生産システム、機械設計、電子機械、自動車工学、電子回路、電子計測制御、製図、実習、課題研究

建設環境科

《環境土木コース》

土木とは私たちの生活基盤となる道路・鉄道・港湾・空港・ダムなどの社会生活を支えていく仕事です。また環境との調和を常に考えながら測量、コンクリート、土・水・構造力学等を幅広く学び施工技術者となるための知識を学びます。

《建築コース》

建築に関する知識と技術を習得させ、建築業・建築行政などの諸分野において、建築物の設計・施工・監理・指導などの業務に従事する技術者を養成します。

【3年間の学び】

1年生

建設環境科の専門教科として土木と建築に関係する基礎的な内容を学ぶ。
 現場見学、工業技術基礎(実習)を通し建設の専門性を高める。
工業技術基礎、製図、工業情報数理、測量

2年生

環境土木コースと建築コースにわかれ、さらに専門性を高める。
 インターンシップの実施によって実際の現場を経験する。
実習、製図、建築構造、建築構造設計、建築/土木施工、測量、土木基礎力学

3年生

土木と建築移管する実験や実習を通じて、より専門的で高度な内容を学ぶ。
 また、資格取得のための集中講義を行うなど、将来を見据えて進路目標達成のために学びを深める。
実習、製図、建築計画、建築法規、建築/土木施工、土木基礎力学、社会基礎工学、課題研究

